

學 藝 新 聞

第15号
2020年（令和2年）3月19日発行

- マルチカルチャーデー……………1
- マルチカルチャーデー……………2
- OGOP・OGNP／卒業式……………3
- 輝く人（卒業生）／キルギス便り ……4・5
- 学芸トピックス……………6・7
- 学芸スポーツ……………8

発行元
学校法人 大阪学芸
大阪学芸高等学校
大阪学芸高等学校附属中学校
〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL.06-6693-6301 FAX.06-6693-5173

附属中学校
1年生
Multi culture day



ベトナム出身のサポーターと
▼はじめに各国の紹介を聞きました



異文化交流体験

附属中学校
2年生
Multi culture day

OSAKA ENGLISH VILLAGE



“Transportation”にて
▼“Hollywood”にて



附属中学校
3年生
Multi culture day

ECC国際外語専門学校

海外の薬局で店員とのやり取り
▼まずはウォーミングアップ



日本に観光に来ている海外の人たちへ切符の買い方のサポート

世界と交流への第一歩

附属中学校 マルチカルチャーデー開催

※マルチカルチャーデーの詳細は二面へ続きます。

学芸ニュース

(一面の続き)

附属中学校・一年生 Multi culture day



異文化交流体験

日時:2019年12月13日(金)
場所:本校ホールおよび体育館

毎年1年生は、公益財団大阪府国際交流財団からOFIX国際理解教育外国人サポーターの方々を派遣していただき、校内で様々な異文化交流体験を実施しています。

今年度はエジプト・韓国・ネパール・ベトナム出身のサポーターの方々に来ていただきました。それぞれの出身国についての紹介を聞いたあと、体育館では各国の遊びを実際に体験しました。サポーターの方々の説明は丁寧でわかりやすく、生徒たちも楽しみながら文化を学び、交流を深めることができました。



エジプト出身のサポーターと



韓国出身のサポーターと



ネパール出身のサポーターと

附属中学校・二年生 Multi culture day

なりきりレッスンで楽しく英語コミュニケーション

日時:2019年12月10日(火)
場所:OSAKA ENGLISH VILLAGE (吹田・エキスポシティ)

昨年引き続き、アメリカの文化・歴史を英語で体験できる OSAKA ENGLISH VILLAGE に行ってきました。「キャストになりきってニュース番組をつくる」「アメリカの国内旅行を体験する」など、用意されたいくつかの部屋から興味のあるものを選び、30分のレッスンを3回受けました。レッスンに合わせた部屋の装飾や、陽気なインストラクターの方々が作り出す雰囲気の中、楽しく英語でのコミュニケーションに取り組むことができました。



OSAKA ENGLISH VILLAGE



"Dinosaur Park"にて



"Air Line"にて



"Newsroom"にて



"Las Vegas"にて



附属中学校・三年生 Multi culture day

シチュエーションを楽しみながらグローバル体験

日時:2019年12月19日(木)・20日(金)
場所:ECC国際外語専門学校(梅田)

大阪府が主催する「グローバル体験プログラム」に参加しました。生徒は事前に19日(木)の「グローバルミッション体験」か、20日(金)の「インバウンド旅行者英語でサポート体験」のどちらかを選択。19日(木)は『日本にきている留学生の人たちとSDGsについて意見交換・海外のファストフードや薬局での店員さんとのやり取り』を体験しました。また、20日(金)は『日本に観光にきている海外の人たちへ道案内・切符の買い方のサポート・大阪の魅力を伝える』体験をしました。

流暢に意見交換をしている生徒もいれば、単語だけでも物怖じせず自分の意見や考えを何とか伝えようとしている生徒もいました。楽しみながら積極的に参加している生徒たちの姿が印象的でした。



ゲームを通してSDGsの理解を深めよう



海外の方に大阪の魅力を伝えよう



海外のファストフード店にて買物体験



海外の人たちへ英語で道案内



1年留学がスタートしました!



国際科1年B組は1年間の海外留学をする生徒が集まったクラスです。これまで、通常授業に加えて、ネイティブの先生と日常会話の練習をする所から始まり、世界各国の生徒と英語で意見を交わしたり、カナダからの留学生をホームステイ先として受け入れたり、カナダ・ニュージーランドの文化や歴史について学んだりと留学に向けて様々な準備をしてきました。2つのプログラムが用意されており、OGOPプログラムはオタワ(カナダ)で、OGNPプログラムはネルソン(ニュージーランド)での留学です。今回はそれぞれの現地での様子をレポートします。



2020年1月11日(土)、OGOPプログラムの25名の生徒が家族、友達に見送られ、オタワに出発しました。オタワの空港ではホストファミリーの方々が笑顔で迎えてくださいました。着いた翌日の日曜日には、現地で必要なものを買うためショッピングに連れて行っていただいた生徒も多かったようです。

週明けからYPLS(オタワ教育委員会系列の語学学校)で約3週間学びました。ここではオリエンテーションのち英語の授業を受け、学力診断テストを行いました。YPLSでは本校生徒だけでなく、他の国からの留学生も英語を学んでいます。初日はホストファミリーに学校まで連れてきていただきましたが、2日目からはバスや電車を使い、自分で登校できるようになりました。吹雪などの影響もあり、日本の交通インフラと比べると遅延や運休の頻度も高いようですが、それも現地において初めて感じられる日本との違いの1つかもしれません。



プログラムではカナダの雄大な自然と冬の寒さを体感できるアクティビティも充実しています。暖冬の今年でも氷点下という雪世界の中、スキー・スノーボード・チュービング・スノーシューなどのウィンタースポーツを楽しみました。

2月3日(月)、YPLSでの準備期間を終え、いよいよ本格的に現地での高校生活が始まりました。OGOPプログラムでは6つの高校と提携しており、生徒はそれぞれの高校に分かれて在籍することになります。ほぼ知らない人ばかりの中で授業に参加する日々で、ホームシックも経験することと思いますが、生徒たちはそれを乗り越えて成長していこうと決心しているようです。

学校の授業は選択式で、最初の半年は英語、数学、社会、ダンス、体育、美術などの授業を選び、語学力の向上に準じて後半の授業を組み立てていきます。ホームステイをしながら日本の学校とは異なる授業スタイルで勉強する中で、視野を広げ、国際的な思考を身につけていくことを期待しています。



2020年1月22日(水)、OGNPプログラムの4人の生徒がネルソンに出発しました。空港ではホストファミリーの方々がアットホームな雰囲気でお出迎えくださいました。到着翌日には歓迎会が開かれ、楽しいひとときとなりました。



ニュージーランドは南半球にあるため、現在は夏で過ごしやすいつ時期です。週末には、ホストファミリーとピクニックに出かけてニュージーランドの大自然の中で体を動かしたり、近所のマーケットに行ってアイスクリームを食べたり、とニュージーランド生活を満喫しています。スーパーマーケットで買い物すると乳製品の種類の多さに驚き、どこまでも広がる青空のもと、放牧された牛や羊たちが草を食べてのんびりしている光景には、ニュージーランドならではのゆっくりとした時間の流れを感じています。

4人が学ぶワイメア高校では留学生を歓迎する式典が開かれ、先住民族マオリの人々に伝わる「ポフォリ」と呼ばれる伝統的な歓迎の儀式が行われました。また、ヘインズ学校長より、マオリ語(マオリ族の言葉)での歓迎スピーチをいただきました。

約1週間のオリエンテーションの中で、学校生活についてのガイダンス、英語や数学の学力診断テストをこなし、また、課外授業として、泥まみれになりながらアスレチックをするアクティビティを楽しみました。

ワイメア高校では日本と同じように制服があり、現地の生徒と同じ服装で登校しています。また、世界中から留学生の集まる国際色豊かな学校であり、世界各国に友達の輪が広がる可能性もあります。2月4日(火)から本格的に授業が始まりました。現地の学生に交じっての勉強ということで、今まで以上にハードな日々となりますが、様々なことを経験し、それぞれの夢に向かって大きく成長することを期待しています。

卒業生622名 未来へ翔る!

2020年2月21日(金)、本校本館体育館において第115回卒業証書授与式が挙行されました。

春の兆しを感じる陽差しのもと、卒業生は在学中の思い出と感謝を胸に、それぞれの新しい世界に向かって第一歩を踏み出しました。



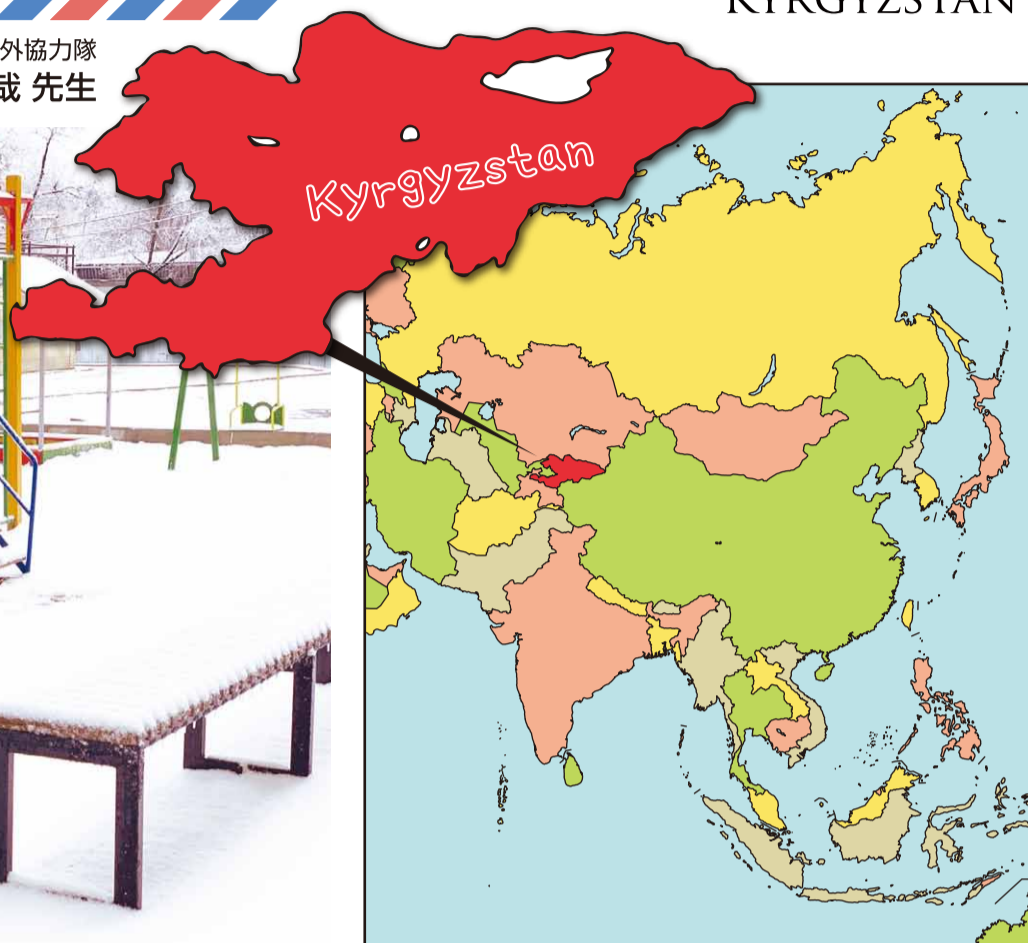
本校英語科教員である飯田智哉先生が、今年度より2年間の予定で、JICA海外協力隊の一員として、中央アジアのキルギス共和国に派遣されています。学芸新聞では今号より、「キルギス便り」と銘打って、飯田先生からの報告を紹介いたします。



KYRGYZSTAN

キルギス便り Vol.1

本校英語科教員・JICA海外協力隊
飯田智哉 先生



キルギス共和国について

中国の西、険しい山々に囲まれた場所に位置し、面積は19万8,500km(日本の約半分)で人口は約620万人の小さな国です。国語はキルギス語で、ロシア語も公用語として話されています。食事はパンを主食とし、肉料理も好んで食べます。バシバルマック（茹でた麺と細かく刻んだ羊肉を混ぜたもの）やプロフ（キルギス風炊き込みご飯のようなもの）などの伝統料理に加えて、ボルシチやピロシキといったロシア料理も一般的です。

キルギスの人は日本に対して好意的な感情をもっていている人が多く、「かつて一緒に住んでいた人々のうち、魚が好きな人々は東に行き日本人になり、肉が好きな人々は西に行きキルギス人となった。だから、キルギス人と日本人はきょうだいである。」とも言われているほどです。



キルギスでの活動について

ベロボツカヤ村にある学校に配属され、現地の英語の先生方をサポートすることが求められています。先生方と共に授業をしながら、主に文法と会話の指導方法についての提案や教材の作成を行っています。放課後には英語クラブを開講し、そこでは主にスピーキングの練習の場を提供します。また日本の文化や言葉に興味をもっていている生徒達もいるので、日本語クラブも開講する予定です。

JICA海外協力隊に参加しようと思った理由

今まで自分が携わってきた英語教育の分野で世界に少しでも貢献したい、そして自分自身もっと世界のことを知るために努力し、その結果得られたことを次の世代に伝えたい、という思いから参加を決心しました。

現地に行くまでの準備として

現地語の勉強をしたかったのですが、キルギス語は教材などがほとんど手に入らなかったため「せめて英語だけでも極めてやろう!」と思って英検1級の取得を目指して勉強し、無事に合格しました。日本文化についても自分なりに勉強し直しましたが、いざ現地で実際に聞かれると答えに窮してしまう場面が意外に多く、もっと力を入れておくべきだったと後悔しています。

現地に入ってから

最初の1ヶ月は首都ビシュケクでの語学研修でした。ビシュケクはスーパーやショッピングモールはもちろんのこと、映画館やボウリング場などの娯楽施設も揃っている便利なところで、「本当に協力隊に来たの?」と思ってしまう程でした。ところが任地のベロボツカヤ村に引越してからは、お店も最低限のみだったり、道路も整備されていなかったりと、地域によっては差がとても大きいと感じました。

キルギスの人は、みんなでお喋りをしながらお茶を飲んだりご飯を食べたりして一緒に過ごす時間を大切にしています。学校での活動は始まったばかりですが、まだまだ現地での会話が未熟な私に対しても、生徒達は握手しながら挨拶をしてくれます。先生方も休み時間にお茶やパンを持ってきてくださったり、家に招いてくださったりと、本当に温かく迎えてくださっています。

学芸と比べると、配属先の学校の学習環境は決して良いとは言えません。iPadやBig Padはもちろんのこと、印刷機さえありません。オーディオ機器も十分に揃っていないので、英語の授業で録音音声を流すことも出来ません。そのような中でも頑張って勉強して覚えた表現を駆使しながら、私に英語で話しかけてくれる生徒が多くいます。中には日本語で話しかけてくれる生徒もいます。彼らとの交流を深めつつ、先生方も協力しながら、1人でも多くの生徒に対して外国への興味を喚起し、より良い学習環境を築いていこうと思います。



学芸トピックス



大阪マラソンの応援ボランティアに参加しました!

2019年12月1日(日)に開催された「第9回大阪マラソン」応援ボランティア参加者33名(高校生29名、附属中学生4名)は、早朝7時になんば(湊町周辺)に集合し、レースのスタートから25km地点でコース沿道整理の作業を行いました。

現地集合後、まず図面に従い、カラーコーンや養生テープをコースの沿道に設置していきました。最初は多くの生徒たちがリーダーの指示を待つだけで、作業もなかなか進みませんでした。しかし、要領を理解し始めると、自分たちで声を掛け合って動いたり判断をしたりできるようになり、スムーズに作業が進めることができました。

競技が開始し、最初に登場したのは車いすマラソン選手の集団です。レースはスピード感にあふれ、初めて見た生徒たちは驚き、選手の皆さんの頑張っている姿に感動して

いました。その後続く一般ランナーの皆さんの懸命な姿に対しても生徒達はみな沿道から熱い声援を送りました。

13時半ごろにランナー最後尾が通り過ぎたの見届け、コース沿道の撤収を手伝いました。長時間にわたる活動でしたが、生徒たちは終始笑顔で、てきぱきと責任感を持って行動していました。また、近隣の方から「ありがとう!」「頑張ってるね!」という声をたくさん掛けていただき、とてもやりがいを感じたようです。大阪マラソンでのボランティアはぜひ今後も継続していきたいと思っています。

大阪学芸ボランティアサークルは、普段は学校近隣のプロサッカーチームであるセレッソ大阪の試合におけるボランティアを行っています。毎年、年度当初にボランティアサークルの登録会を実施していますので、今後も多くの生徒が参加することを願っています。



大阪マラソン応援ボランティアに参加した大阪学芸ボランティアサークルのみなさん



令和元年度 明るい選挙啓発ポスターコンクール

毎年、美術の授業では、1学期にポスターを制作しています。

今年度も高校1年生美術選択者223名の作品を本コンクールに出品した結果、4名が大阪市(第一次)審査に入選しました。4名の作品は、いずれもテーマの趣旨を正確に伝える内容で、それぞれの個性が光るものでした。

本コンクールに出品を始めてから、約20年たちます。

7年前より、実際に使われている投票箱や投票記載台を住吉区役所からお借りし、「投票する人」・「投票用紙に記載する人」として交代でポーズとり、作品制作の参考にさせていただいています。18歳から投票が可能になったことで、より身近なテーマとして取り組めるようになり、学校制服姿で投票する場面が作品に登場するようになったのが、最近の特徴となっています。

入選作品
ギャラリー



ショウ 英美さんの作品



山野 愛さんの作品



中嶋 風咲さんの作品



渡辺 いこいさんの作品

大阪市(第一次)審査
入選受賞





大阪私立中学校高等学校体育大会 優秀校として表彰されました！

女子総合 第3位



2020年2月22日（土）に大阪私学会館で行われた「令和元年度 第66回大阪私立高等学校総合体育大会優秀校表彰式」に参加しました。

この賞は、私立高等学校総合体育大会において、複数の種目の戦績をポイント化し、ポイント数が高く優秀な成績を収めた学校に贈られるものです。本校は、参加校全90校ある中で第3位となり、立派な盾と賞状をいただきました。大阪私立高等学校体育連盟会長からの祝辞に「大阪は、学校全体でスポーツに取り組む学校が非常に多く、大変誇らしい」という話がありました。その中でも第3位に輝き今回の表彰式に参加させていただいたことは、貴重な経験であり、身の引き締まるものとなりました。校内のクラブ間で切磋琢磨し、競技は違っても共に頑張ることのできる学校の雰囲気、更に一つひとつのクラブを強くすると感じました。各クラブの今後更なる活躍に期待したいと思います。



【参加生徒】
三馬 夕芽
岡本 奈月
市川 亜蘭
(女子バレーボール部)

【引率教員】
真鍋 早智



高校女子 サッカー部 堂々の 全国大会3位

2020年1月3日（金）を皮切りに兵庫県で開催された第28回全日本高等学校女子サッカー選手権において、本校女子サッカー部が素晴らしい結果を打ち立てました。

1回戦対戦校の常盤木学園高校（宮城）は、過去にも対戦し本校が勝利を収めた縁のある高校。ここの戦いに3-0で快勝し、続く2回戦では鎮西学院高校（長崎）に1-1の後PK戦4-2で勝利。準々決勝の対戦校・鳴門渦潮高校（徳島）には2-0で勝利し、準決勝の場を迎えました。

1月7日（火）、ノエビスタジアム。対戦相手は優勝候補にも挙げられていた神村学園高等部（鹿児島）。大阪学芸の生徒・OB・保護者・教職員の応援を背に受け、選手達は渾身のプレーを繰り広げました。相手に対して一歩も引かず、前半はむしろ押す場面もありました。

結果は0-1。惜しくも決勝に進むことはできませんでしたが、選手全員が全員のために「考」えて「動」き、一丸となってボールを追い、走り続けました。

今年度の素晴らしい結果と成果の数々を3年生から引き継ぎ、さらに輝かしいものにするため、在校生一同努力を重ねていきます。

遠いところ応援に駆けつけてくださった皆様の応援から、選手達は大きな力をいただきました。皆様、本当にありがとうございました。これからもどうか宜しくお願いいたします。

【第28回全日本高等学校 女子サッカー選手権大会】

1回戦 1月3日（金） 三木総合防災公園陸上競技場
vs 常盤木学園高校 3-0 勝利

2回戦 1月4日（土） 三木総合防災公園第2陸上競技場
vs 鎮西学院高校 0-0 (PK4-2) 勝利

3回戦 1月6日（月） 三木総合防災公園陸上競技場
vs 鳴門渦潮高校 2-0 勝利

準決勝 1月7日（火） ノエビスタジアム神戸
vs 神村学園 0-1 敗戦





関西大会から全国大会へ

学業と部活動の両立を図り
常に感謝の気持ちを持って

吹奏楽部は現在123名の部員が所属しています。構成は附属中学生6名・高校生117名で、高校生、中学生の区別なく共に活動しています。吹奏楽連盟の規定により、高校と同一学校に所属する中学生は、高校の部ではありませんがコンクール・マーチング・アンサンブルの大会に出場することができます。よって今年度は中学生もコンクール・マーチングの大会に出場しています。

吹奏楽部では、学業と部活動の両立を合言葉に、スケジュールの自己管理に努めています。その上で日常生活の充実や心身の健康管理、チームワークで効率よく活動すること、常に感謝の気持ちを持つことの実践を活動目標にし、生徒がそれぞれの係を決めて連携しながら日々の活動を行っています。

今年度は

- 大阪府吹奏楽コンクールで中地区大会 金賞代表校
- 大阪府大会 銀賞
- 大阪府マーチングコンテスト 金賞代表校
- 関西マーチングコンテスト 銀賞
- 大阪府アンサンブルコンテスト 金賞代表
- 関西アンサンブルコンテスト 銅賞
- 関西ステージマーチングフェスティバル参加

など多くの大会やイベントに参加していますが、近年、関西大会レベルに進出できるようになりました。次は全国大会を目標にし、一步一步努力を重ねて行きたいと決意しています。

大会出場のため、年に1回の定期演奏会を毎年3月にNHK大阪ホールで開催し、ステージマーチング・ミュージカルコンサートなどの手作りの演奏会を催しています。

これからも部員一丸となり、多くの方に愛されるバンドになれるよう頑張っていきます。どうか応援よろしくお願いします。



2019年4月～2020年3月 吹奏楽部 活動スケジュール

- | | | |
|---|-------------------------------------|--|
| 4月 ●OCATスプリングコンサート(JR難波OCATポテ広場) | 8月 ●合宿(奈良県 民宿2・7) | 12月 ●アンサンブルコンテスト大阪府大会
金管8重奏 金賞・代表(八尾市文化会館プリズムホール) |
| 5月 ●プラスエキスポ2019(万博記念公園) | 9月 ●鶴ヶ丘スクエア(鶴ヶ丘駅前) | ●大阪芸術大学アンサンブルコンテスト(大阪芸術大学) |
| 6月 ●セレッソ サポートマッチ
(ヤンマースタジアム長居) | ●文化祭(本校) | ●金管8重奏 金賞 ●打楽器6重奏 金賞 |
| ●附属中学校 学校説明会(本校) | ●大阪府マーチングコンテスト 金賞代表
(おおきにアリーナ舞洲) | ●サクソス5重奏 銀賞 ●クラリネット6重奏 銀賞 |
| 7月 ●SUMMER ACT CONCERT 2019(住吉区民センター) | ●関西マーチングコンテスト 銀賞
(丸善インテックスアリーナ) | 2月 ●関西ステージマーチングフェスティバル(あましんアルカイックホール) |
| ●香港グッドホープスクール交流会(本校) | ●長居植物園秋のローズウィーク コンサート
(長居植物園) | ●卒業式(本校) |
| ●大阪府吹奏楽コンクールコンクール中地区大会
金賞・代表(八尾市文化会館プリズムホール) | 10月 ●本校入試説明会演奏(4回)(本校) | ●アンサンブルコンテスト関西大会 銅賞(ひこね文化プラザ) |
| 8月 ●大阪府吹奏楽コンクール大阪府大会 銀賞
(大阪国際会議場) | 12月 ●劇団四季「ノートルダムの鐘」鑑賞(京都劇場) | ●第32回定期演奏会(NHK大阪ホール) |
| | | ●大阪選抜吹奏楽団 コンクール・パフォーマンスツアー
(フロリダ ディズニーワールド) |

◎いろいろな最新情報を掲載しております。ぜひアクセスしてみてください。

吹奏楽部HP

吹奏楽部公式Twitter



【第32回定期演奏会 延期のお知らせ】

2020年3月20日(金・祝)18:00開演 NHK大阪ホールで開催を予定していた定期演奏会は、新型コロナウイルスに対する社会情勢に鑑み、延期することとなりました。日程等については決定次第ホームページ等でお知らせいたします。また、入場整理券を受け付けましたお客様には、改めて個別にご案内・お知らせいたします。

